

YAMAHA

AUTO/MANUAL CHROMATIC TUNER

YT-2200

OWNER'S MANUAL
MODE D'EMPLOI
BEDIENUNGSANLEITUNG
取扱説明書



このたびはヤマハ・オート/マニュアル クロマチックチューナー YT-2200をお買い求めいただき、ありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

■ご使用になる前に

◆使用する場所

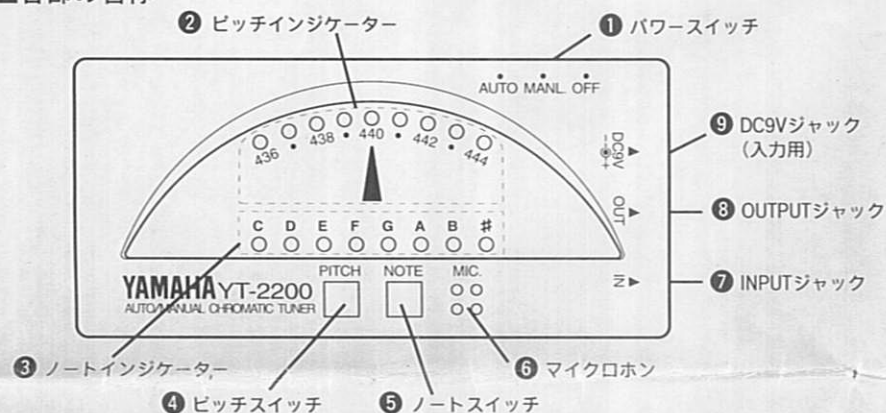
次のような場所でご使用になりますと、故障の原因となりますのでご注意ください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・温度や湿度が非常に高い場所や低い場所
- ・砂やホコリの多い場所

◆電源について

YT-2200は、6F22(006P)乾電池または別売のYAMAHA ACアダプターAC-05、AC-320で動作します。他のACアダプターを使用された場合、故障の原因となることがあります。必ず極性の正しいもの(— ⊕ —)をお使いください。
ご使用にならない時は、必ずパワースイッチをOFFにしておいてください。また、電池の液漏れを防ぐため、長時間ご使用にならない時は、電池を取り出しておいてください。
※パワースイッチがOFF以外の場合は、ピッチインジケータの左端が点灯します。

■各部の名称



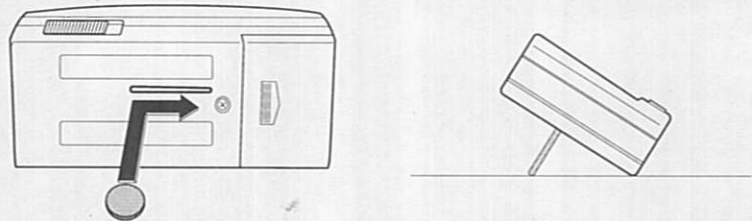
■仕様

- 表示 : ノートインジケータ、ピッチインジケータ
- 測定範囲 : B0~B7
- 測定精度 : ±1セント
- ジャストチューン : ±3セント
- 標準ピッチ範囲 : A4=436~444Hz (1Hzステップ)
- 付加機能 : バッテリーチェック機能
- 端子 : INPUTジャック、OUTPUTジャック、DC9Vジャック
- 電源 : 6F22(006P)9V乾電池、別売ACアダプター(AC-05またはAC-320)
- 外形寸法 : 127(W)×60(D)×28.5(H)mm
- 重量 : 140g(乾電池含む)
- 付属品 : 6F22 9V乾電池×1

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

■チルトスリットの使い方

本体裏側のスリットは、チューナーを傾けて使うためのものです。下図のようにコイン等をセットしてお使いください。



保証書

持込修理

この度はヤマハ・オート/マニュアル クロマチックチューナーをお買い上げいただきありがとうございます。本書は、本書記載内容で修理を行なう事をお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。(詳細は裏面をご覧ください)

品名	オート/マニュアル クロマチックチューナー	品番	YT-2200
保証期間	本体 : お買い上げの日から1年間	※お買い上げ日	年 月 日
お客様	ご住所 〒	※店名	印
	お名前	住所	
	電話 ()	販売店	電話 ()

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入してお渡しいください。

修理(サービス)メモ

年月日	内容	担当者	印

ヤマハ株式会社 LM営業部
ギター・ドラム営業課
〒430 静岡県浜松市中区中沢10番1号 053-460-2431

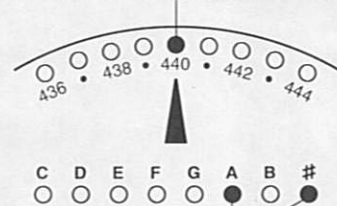
■チューニングの方法

●オートチューニング:(AUTO)

音を入力すると、その音に一番近い音名と、その音より高いか低いかが自動的に表示します。

1. 電気・電子楽器の場合はINPUTジャック⑦に楽器からのコードを接続します。(この時OUTPUTジャック⑧とアンプを接続しておけば、電気・電子楽器の音がアンプ・スピーカーから発音されます。)
※ OUTPUTジャック⑧からは、YT-2200の電源のON、OFFにかかわらず、INPUTジャック⑦に入力した楽器音が出力されますが、ノイズの発生を防ぐため、演奏中はパワースイッチ①をOFFにしてご使用ください。
アコースティック楽器の場合は、内蔵マイクロホン⑥に楽器をできるだけ近づけます。
※ INPUTジャック⑦にプラグが接続されている時には、内蔵マイクロホン⑥は作動しません。
2. パワースイッチ①を“AUTO”にセットします。
3. ピッチスイッチ④を押して、標準となるA4のピッチ(436~444Hz)を選択します。(“ピッチ設定の方法”の項参照)
4. 楽器より音を出すと、その音に一番近い音名をノートインジケータ③が点灯表示します。半音は、#のインジケータで表示します。
※ 楽器音は同時に2音以上出さないでください。
5. ノートインジケータ③が合わせたい音名を表示し、ピッチインジケータ②の中央(440)だけが点灯するように、楽器をチューニングします。

440のインジケータだけが点灯するように



合わせたい音名のインジケータが点灯するように (図はA#にチューニングする場合の例です)

●マニュアルチューニング:(MANL)

あらかじめチューニングする音をセットしておいてからチューニングするモードです。

1. オートチューニングの場合と同様に、楽器を接続するか内蔵マイクロホンに近づけます。
2. パワースイッチ①を“MANL.”にセットします。
3. ピッチスイッチ④を押して、標準となるA4のピッチ(436~444Hz)を選択します。(“ピッチ設定の方法”の項参照)
4. ノートスイッチ⑤によりチューニングしたい音を選びます。ノートスイッチ⑤を押すごとに、下図の順で音名が変わります。
→ C → C# → D → D# → E → F → F# → G → G# → A → A# → B →
5. 楽器より音を出し、ピッチインジケータ②の中央(440)だけが点灯するように、楽器をチューニングします。

■ピッチ設定

標準となるピッチを設定します。各楽器のチューニングを合わせるために、ピアノの中央のラの音(A4=440Hz)が標準ピッチとして用いられます。この標準ピッチは地域や時代によって多少の誤差があり、近年ではやや高めめのピッチでチューニングされる事が多くなっています。

■ピッチ設定の方法

1. パワースイッチ①を“AUTO”または“MANL.”にセットします。
2. ピッチスイッチ④を1回押すと、現在設定されている標準ピッチ(A4: 436~444Hz)を示すピッチインジケータ②が点滅します。
3. インジケータ②の点滅中にピッチスイッチ④を押して、希望する標準ピッチを設定します。1回押すごとにインジケータ②の点滅位置が1ステップ(1Hz)ずつ移動します。
→ 436 → 437 → 438 → 439 → 440 → 441 → 442 → 443 → 444 →
4. ピッチスイッチ④を押す操作を止めた後、約2秒後に自動的にチューニングモードへ戻ります。

※ パワースイッチ①を“OFF”にするまで、設定された標準ピッチは“AUTO”、“MANL.”いずれのモードでも有効です。パワースイッチ①を“OFF”から“AUTO”または“MANL.”にすると、標準ピッチは440Hzにリセットされ、約2秒間点滅表示します。

標準ピッチ(A4)を一度セットしたら、あとは各弦(音名)とも、ピッチインジケータ②の中央(440)だけが点灯するようにチューニングすればOKです。

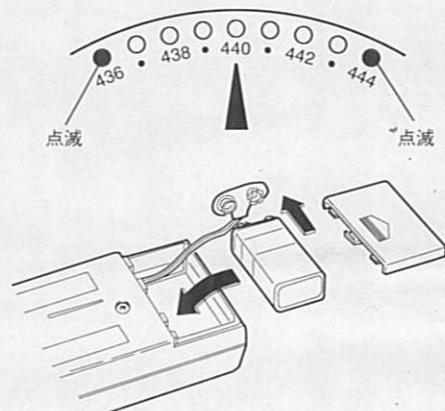
■電池交換

●バッテリーチェック

電池の残量が少なくなってくると、使用中にピッチインジケータ②の両端が点滅を始めるので、お早めに新しい電池(6F22: 006P-9V)と交換してください。
長時間ご使用になる場合は、別売ACアダプター(AC-05またはAC-320)をおすすめします。

●電池交換の方法

右図のようにして電池を交換します。電池の極性(+,-)を間違えないようにしてください。
※ 電池の交換またはACアダプターの接続は、必ずパワースイッチ①を“OFF”にしてから行ってください。



■サービスについて

1. 保証期間

本機の保証期間は、ご購入(保証書による)より満1ヶ月(現金・クレジット・月賦等)による区別はございません。また保証は日本国内でのみ有効と致します。

2. 保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。また、お買い上げ店より遠方に移動される場合は、事前にお買い上げ店あるいは右記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にご連絡ください。移動先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

3. アフターサービス

満1ヶ月の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。そのほかご不明の点などございましたら、お買い上げ店あるいは右記のヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点までお問い合わせください。

ヤマハ株式会社

LM営業部
ギター・ドラム営業課
〒430 静岡県浜松市中区中沢10番1号
053-460-2431

ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点

（修理受付および修理品お持ち込み窓口）	
北海道サービスセンター 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目1-50 ヤマハセンター内 TEL (011) 513-5036	仙台サービスセンター 〒983 仙台市青葉区御前5-7 仙台郵局共同配送センター3F TEL (022) 236-0249
新潟サービスステーション 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル2F TEL (025) 243-4321	首都圏サービスセンター 〒211 川崎市中原区本木1184 TEL (044) 434-3100
東京サービスステーション 〒108 東京都港区高輪2-17-11 TEL (03) 5488-6625 (*お持ち込み修理窓口)	浜松サービスセンター 〒435 浜松市上野町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL (052) 652-2230	大阪サービスセンター 〒565 吹田市新野原下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL (06) 877-5262
四国サービスセンター 〒760 高松市丸島町8-7 ヤマハ(株)高松店内 TEL (0878) 22-3045	広島サービスセンター 〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39 TEL (082) 874-3787
九州サービスセンター 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2134	[本社] カスタマーサービス部 〒435 浜松市上野町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL (053) 465-1158

ヤマハ株式会社LM営業部

ギター・ドラム営業課 〒430 浜松市中区中沢10番1号 TEL (053) 460-2431	東京支店LM営業課 〒108 東京都港区高輪2-17-11 TEL (03) 5488-5471
関東支店LM営業課 〒108 東京都港区高輪2-17-11 TEL (03) 5488-1688	大阪支店LM営業課 〒542 大阪市中央区南船場3-12-9(心斎橋プラザビル東館) TEL (06) 252-5231
名古屋支店LM営業課 〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL (052) 201-5199	九州支店LM営業課 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2130
北海道支店LM営業課 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目1-50(ヤマハセンター) TEL (011) 512-6113	仙台支店LM営業課 〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 TEL (022) 222-6147
広島支店LM営業課 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18(ヤマハビル) TEL (082) 244-3749	

※住所及び電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA

AUTO/MANUAL CHROMATIC TUNER

YT-2200

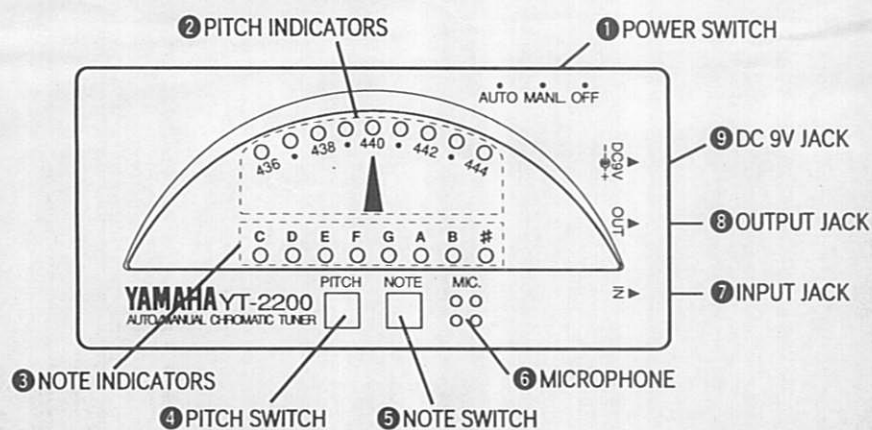
OWNER'S MANUAL

Thank you for purchasing the YAMAHA YT-2200 Auto/Manual Chromatic Tuner. Please read this manual thoroughly and keep it in a safe place for future reference.

■ PRECAUTIONS

- ◆ To prevent damage, do not use the tuner in the following locations:
 - places where the unit will be in direct sunlight;
 - places subject to temperature and humidity extremes;
 - places that are sandy or dusty.
- ◆ To power the tuner, use only a 6F22 or 006P 9V dry cell battery or an optional YAMAHA AC-05UC or AC-320UC AC Adaptor. Other power sources may damage the device.
 - * Before connecting the AC adaptor, make sure that the polarities of the plug and the jack match (- → +).
 - * The PITCH indicator at the extreme left will light up unless the power switch is turned OFF.
- ◆ For maximum battery life, always be sure the tuner is turned OFF when not in use.
- ◆ To prevent possible damage due to leakage of battery fluid, remove the battery from the tuner if it is not to be used for an extended period of time.
- ◆ Do not subject the tuner to strong physical shock or vibration. Do not use excessive force on any of the parts.
- ◆ Never use solvents such as benzene or thinner to clean the tuner. Wipe clean with a soft, dry cloth.

■ COMPONENTS



■ SPECIFICATIONS

Indicators	: NOTE Indicators, PITCH Indicators
Tuning Measurement Range	: B0 — B7
Precision	: ± 1 cent
Tuning Indicator accuracy	: ± 3 cent
Standard Pitch Range	: A4 = 436 Hz — 444 Hz (1 Hz steps)
Added Function	: Battery Check
Jacks	: INPUT, OUTPUT, DC 9V
Power Source	: 9V dry cell battery (006P or 6F22) or YAMAHA AC adaptor (AC-05UC or AC-320UC)
Dimensions (WxHxD)	: 127 x 60 x 28.5 mm (5" x 2-3/8" x 1-1/8")
Weight	: 140 g (4.9 oz) with battery
Accessory	: 9V dry cell battery (6F22) x 1

* Specifications and external appearance are subject to change without notice.

■ BATTERY CHECK

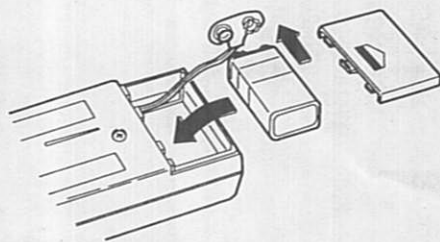
If the pitch indicators ② at both extreme sides are flashing when this tuner is in use, it shows that the time has come when the battery should be changed. In this case, please replace the battery with a new one (6F22:006P-9V) as soon as possible.

For convenience, the tuner has a DC 9V jack; please use an optional YAMAHA AC adaptor (AC-05UC or AC-320UC) wherever possible.

• Battery Change

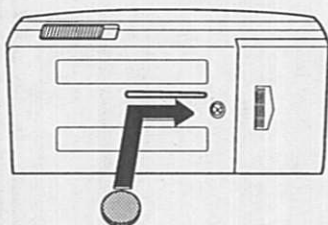
The battery compartment is in the rear of the tuner. Remove the old battery and replace it with a new one of the same type. Be careful to connect the battery in the correct polarity.

* Always turn the power switch ① to "OFF" before changing the battery or connecting an AC adaptor.



■ TILT SLIT

The tuner can be tilted back by using the slit in the rear panel. Insert a coin or similar flat object into the slit and tilt back as shown in the diagram below.



■ TUNING PROCEDURES

• Auto Tuning (AUTO)

In AUTO mode, the tuner will automatically select the note closest to the tone input for tuning. This is convenient for tuning during musical performances.

1. For electric instruments, connect the cord from the instrument to the INPUT jack ⑦. (At this time, the OUTPUT jack ⑧ can be connected to an amplifier system.)

* If sound is input at the INPUT jack ⑦, the sound will be transmitted to the OUTPUT jack ⑧ whether or not the power switch ① is turned OFF. To ensure only the desired sounds during a musical performance, keep the power switch ① in the OFF position.

For acoustic instruments, place the instruments near as possible to the built-in microphone ⑥ when tuning.

* The built-in microphone ⑥ cannot be used when there is a plug in the INPUT jack ⑦.

2. Turn the power switch ① to the "AUTO" position.

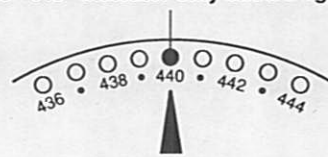
3. If desired, press the pitch switch ④ to select the standard A4 pitch. (Refer to the Pitch Selection section for details.)

4. When a note is played, the note indicator ③ closest to the corresponding pitch will light. For half tones the "#" indicator will light.

* Make sure that only one sound (note) is played.

5. Tune the instrument until the note indicator ③ corresponding to the note played and only the center pitch indicator ② (440 Hz) lights.

The "440" indicator only should light up.

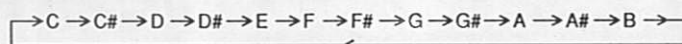


The appropriate indicator for the plucked tuning note should light up.

• Manual Tuning (MANL.)

In MANL. mode, each note must be individually selected as needed. This mode is most commonly used to tune instruments before musical performances.

1. Similar to AUTO mode, connect the electric instrument cord to the INPUT jack ⑦. For acoustic instruments, place the instruments near the built-in microphone ⑥.
2. Turn the power switch ① to the "MANL." position.
3. If desired, press the pitch switch ④ to select the standard A4 pitch. (Refer to the Pitch Selection section for details.)
4. Press the note switch ⑤ to select the desired tuning note. The indicators ③ for the tuning notes will light in sequence (as shown in the pattern below) each time the note switch ⑤ is pressed.



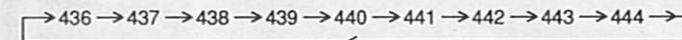
5. Tune the instrument until only the center pitch indicator ② (440 Hz) lights.

■ PITCH SELECTION

Recently, it has become common to slightly raise the standard pitch when tuning musical instruments. The standard pitch also depends on the region and the era. To conform to the current standard and to harmonize with other instruments, the standard pitch must be changed from time to time.

• Pitch Selection Method

1. Turn the power switch ① to the "MANL." or "AUTO" position.
2. Press the pitch switch ④ once to enter pitch selection mode. An pitch indicator ② will flash at one of the standard pitch settings (A4: 436 — 444 Hz).
3. While the pitch indicator ② is flashing, press the pitch switch ④. The pitch indicators ② will flash in sequence (as shown in the pattern below) each time the pitch switch ④ is pressed. Each pitch indicator ② step represents a 1 Hz change in standard pitch.



4. Select the desired standard pitch. When the pitch switch ④ has not been pressed for about 2 seconds, the tuner will automatically return to tuning mode.

* The standard pitch set as above is effective in both "AUTO" and "MANL." modes unless the power switch ① is turned "OFF". If the power switch ① is turned from "OFF" to "AUTO" or "MANL.", the standard pitch will be reset at 440 Hz and the pitch indicator will be flashing for about two seconds.

Once the standard pitch (A4) is set, you have only to tune each note until the pitch indicator ② only at the center (440) lights up.

THIS DIGITAL APPARATUS DOES NOT EXCEED THE "CLASS B" LIMITS FOR RADIO NOISE EMISSIONS FROM DIGITAL APPARATUS SET OUT IN THE RADIO INTERFERENCE REGULATION OF THE CANADIAN DEPARTMENT OF COMMUNICATIONS.

FCC INFORMATION (U.S.A.)

1. IMPORTANT NOTICE: DO NOT MODIFY THIS UNIT!

This product, when installed as indicated in the instructions contained in this manual, meets FCC requirements. Modifications not expressly approved by Yamaha may void your authority, granted by the FCC, to use the product.

2. IMPORTANT: When connecting this product to accessories and/or another product use only high quality shielded cables. Cable/s supplied with this product MUST be used. Follow all installation instructions. Failure to follow instructions could void your FCC authorization to use this product in the USA.

3. NOTE: This product has been tested and found to comply with the requirements listed in FCC Regulations, Part 15 for Class "B" digital devices. Compliance with these requirements provides a reasonable level of assurance that your use of this product in a residential environment will not result in harmful interference with other electronic devices. This equipment generates/uses radio frequencies and, if not installed and used according to the instructions found in the users manual, may cause interference harmful to the operation of other electronic devices. Compliance with FCC regulations does not guarantee that interference will not occur in all installations. If this product is found to be the source of interference, which can be determined by turning the unit "OFF" and "ON", please try to eliminate the problem by using one of the following measures:

Relocate either this product or the device that is being affected by the interference.

Utilize power outlets that are on different branch (circuit breaker or fuse) circuits or install AC line filter/s.

In the case of radio or TV interference, relocate/reorient the antenna. If the antenna lead-in is 300 ohm ribbon lead, change the lead-in to co-axial type cable.

If these corrective measures do not produce satisfactory results, please contact the local retailer authorized to distribute this type of product. If you can not locate the appropriate, please contact Yamaha Corporation of America, Electronic Service Division, 6600 Orangethorpe Ave, Buena Park, CA 90620

The above statements apply ONLY to those products distributed by Yamaha Corporations of America or its subsidiaries.

YAMAHA

ACCORDEUR CHROMATIQUE AUTO/MANUEL

YT-2200

MODE D'EMPLOI

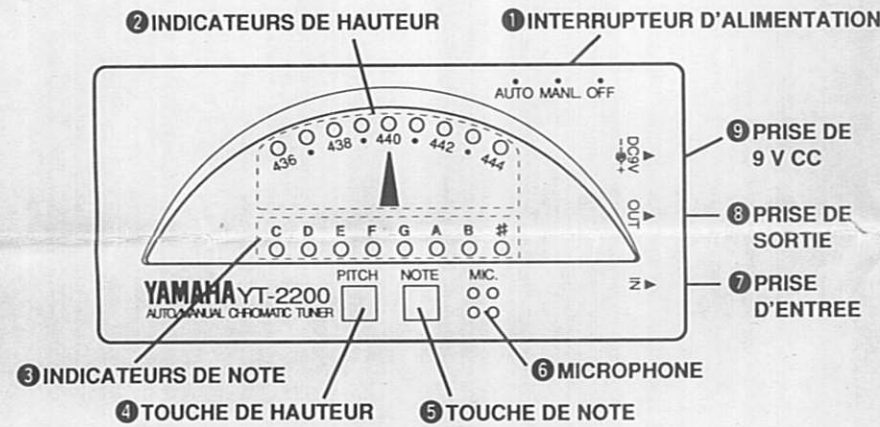
Nous vous remercions d'avoir porté votre choix sur l'accordeur chromatique auto/manuel YAMAHA YT-2200.

Nous vous prions de lire attentivement ce mode d'emploi et de le conserver en lieu sûr pour toute référence future.

■ PRECAUTIONS

- ◆ Afin de ne pas endommager l'accordeur ne pas l'utiliser dans des endroits soumis aux conditions suivantes:
 - plein soleil;
 - humidité ou températures excessives;
 - sable ou poussière.
- ◆ Pour alimenter l'accordeur, utiliser une pile sèche 6F22 ou 006P de 9 volts ou un adaptateur secteur en option YAMAHA AC-05G ou AC-320G.
 - Avant de brancher, vérifier que la polarité de la fiche et celle de la prise correspondent (- → +).
 - Le témoin de hauteur situé à l'extrême gauche reste allumé tant que l'interrupteur d'alimentation n'est pas mis sur la position OFF.
- ◆ Pour prolonger au maximum la durée de vie de la pile, toujours mettre l'accordeur hors tension lorsqu'il n'est pas utilisé.
- ◆ Pour prévenir tout endommagement éventuel de l'accordeur dû à une fuite du liquide de la pile, enlever la pile lorsque l'accordeur ne doit pas être utilisé pendant une période prolongée.
- ◆ Ne pas soumettre l'accordeur à des chocs ou à des vibrations importantes. Ne jamais le manipuler avec une force excessive.
- ◆ Ne jamais utiliser de solvants, tels que de la benzine ou un diluant, pour nettoyer l'accordeur. L'essuyer avec un chiffon propre et sec.

■ ORGANES



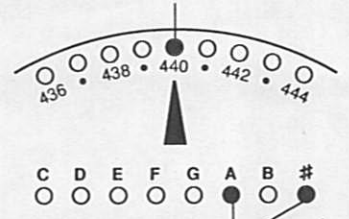
■ MARCHÉ A SUIVRE

• Accord automatique (AUTO)

En mode AUTO, l'accordeur sélectionne automatiquement la note la plus proche de la tonalité d'entrée pour réaliser l'accord. Ceci est particulièrement commode pour accorder pendant une représentation.

1. Dans le cas d'un instrument électrique, brancher le cordon de l'instrument à la prise INPUT ⑦. (La prise OUTPUT ⑧ peut être connectée à un système d'amplification.)
 - * Le son appliqué à la prise INPUT ⑦ sera transmis à la prise OUTPUT ⑧ même si l'interrupteur d'alimentation POWER ① est sur la position "OFF". Pour n'avoir que le son désiré pendant une représentation, laisser l'interrupteur d'alimentation POWER ① à la position "OFF".
2. Dans le cas d'un instrument acoustique, placer l'instrument le plus près possible du micro intégré ⑥ pour réaliser l'accord.
 - * Le micro intégré ⑥ ne peut pas être utilisé lorsque la prise INPUT ⑦ est utilisée.
2. Mettre l'interrupteur d'alimentation POWER ① à la position "AUTO".
3. Si besoin est, appuyer sur la touche PITCH ④ pour sélectionner la hauteur standard A4. Se reporter à "Sélection de la hauteur" pour plus de détails.
4. Lorsqu'une note est jouée, l'indicateur de note ③ le plus proche de la hauteur correspondante s'allume. En cas de demi-tons l'indicateur "#" s'allume.
 - * Veiller à ne jouer qu'un seul son (note).
5. Accorder l'instrument jusqu'à ce que l'indicateur de note ③ correspondant à la note jouée et l'indicateur de hauteur ② central (440 Hz) s'allume.

Seul l'indicateur "440" doit s'allumer



L'indicateur approprié correspondant à la note d'accord jouée doit s'allumer.

• Accord manuel (MANL.)

En mode MANL., chaque note doit être sélectionnée individuellement chaque fois que nécessaire. Cette méthode est la plus couramment utilisée pour accorder un instrument avant une représentation.

1. Comme dans le cas du mode AUTO, connecter le cordon de l'instrument électrique à la prise INPUT ⑦. Dans le cas d'un instrument acoustique, placer l'instrument le plus près possible du micro intégré ⑥ pour réaliser l'accord.
2. Mettre l'interrupteur d'alimentation POWER ① à la position "MANL.".
3. Si besoin est, appuyer sur la touche PITCH ④ pour sélectionner la hauteur standard A4. Se reporter à "Sélection de la hauteur" pour plus de détails.
4. Appuyer sur la touche NOTE ⑤ pour sélectionner la note d'accord souhaitée. Les indicateurs de note ③ des notes d'accord s'allument l'un après l'autre (dans l'ordre indiqué ci-après) à chaque pression de la touche NOTE ⑤.

→ C → C# → D → D# → E → F → F# → G → G# → A → A# → B →
5. Accorder l'instrument jusqu'à ce que l'indicateur de hauteur ② central (440 Hz) s'allume.

■ SÉLECTION DE LA HAUTEUR

Il est devenu habituel d'élever légèrement la hauteur standard pour accorder un instrument musical. La hauteur standard varie également selon les pays et les époques. Pour être conforme au goût du jour et s'harmoniser avec d'autres instruments, la hauteur standard doit être modifiée de temps en temps.

• Mode de sélection de la hauteur

1. Mettre l'interrupteur d'alimentation POWER ① sur la position "AUTO" ou "MANL.".
2. Appuyer une fois sur la touche PITCH ④ pour activer le mode de sélection de hauteur. Un des indicateurs ② correspondant à une hauteur standard (A4: 436 à 444 Hz) clignote.
3. Pendant que l'indicateur ② clignote, appuyer sur la touche PITCH ④. Les indicateurs ② clignent l'un après l'autre (dans l'ordre indiqué ci-après) à chaque pression de la touche PITCH ④. Chaque indicateur ② représente une modification de la hauteur standard de 1 Hz.

→ 436 → 437 → 438 → 439 → 440 → 441 → 442 → 443 → 444 →
4. Sélectionner la hauteur standard souhaitée. Si la touche PITCH ④ n'est pas sollicitée dans les 2 secondes environ, l'accordeur revient automatiquement au mode d'accord.

* La hauteur standard sélectionnée de la manière précédente est effective en mode "AUTO" et en mode "MANL.", à moins que l'interrupteur POWER ① ne soit mis sur la position "OFF". Si l'interrupteur POWER ① est mis de la position "OFF" à la position "AUTO" ou "MANL.", la hauteur standard de 440 Hz est automatiquement rétablie et l'indicateur clignote pendant environ 2 secondes.

Une fois que la hauteur standard (A4) a été réglée, il suffit d'accorder chaque corde jusqu'à ce que l'indicateur de hauteur ② central (440) soit le seul allumé.

■ FICHE TECHNIQUE

Indicateurs	: Indicateurs de NOTE, Indicateurs de HAUTEUR
Plage de mesure d'accord	: B0 — B7
Précision	: ± 1 centième
Précision de l'indicateur d'accord	: ± 3 centième
Plage de hauteur standard	: A4 — 436 Hz à 444 Hz (pas de 1 Hz)
Fonction supplémentaire	: Contrôle de la pile
Prises	: INPUT, OUTPUT, DC 9V
Alimentation	: Pile sèche de 9V (006P ou 6F22) ou adaptateur secteur YAMAHA (AC-05G ou AC-320G)
Dimensions (L x H x P)	: 127 x 60 x 28,5 mm
Poids	: 140 g avec pile
Accessoires	: Pile sèche de 9 V (6F22) x 1

* Les spécifications et l'aspect externe peuvent être modifiés sans aucun avis.

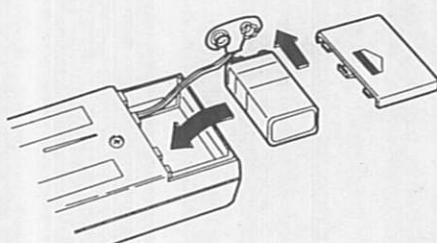
■ CONTRÔLE DE LA PILE

Le fait que les indicateurs de hauteur ② situés aux deux extrémités clignotent pendant que l'accordeur est utilisé indique qu'il est nécessaire de changer la pile. Dans un tel cas, remplacer la pile par une neuve (6F22:006P-9V) le plus tôt possible. Pour des raisons de commodité, l'accordeur est pourvu d'une prise 9 V CC; utiliser un adaptateur secteur YAMAHA (AC-05G ou AC-320G) chaque fois que possible.

• Remplacement de la pile

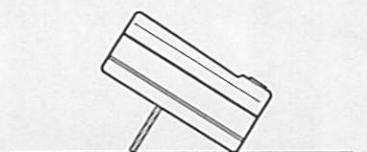
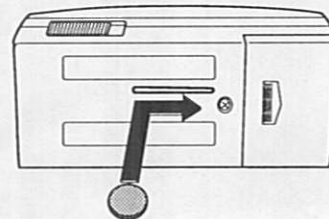
Le logement de la pile est situé au dos de l'accordeur. Retirer la pile usée et la remplacer par une pile neuve du même type. Faire très attention de placer la pile en respectant les polarités.

* Toujours mettre l'interrupteur POWER ① sur la position "OFF" avant de remplacer la pile ou de connecter un adaptateur secteur.



■ FENTE D'INCLINAISON

L'accordeur peut être maintenu incliné en utilisant la fente du panneau arrière. Introduire une pièce de monnaie, ou autre objet plat similaire, dans la fente et incliner l'accordeur de la manière illustrée.



LE PRESENT APPAREIL NUMERIQUE N'EMET PAS DE BRUITS RADIOELECTRIQUES DEPASSANT LES LIMITES APPLICABLES AUX APPAREILS NUMERIQUE DE LA "CLASSE B" PRESCRITES DANS LE REGLEMENT SUR LE BROUILLAGE RADIOELECTRIQUE EDICTE PAR LE MINISTERE DES COMMUNICATIONS DU CANADA.

YAMAHA

CHROMATISCHES STIMMGERÄT

YT-2200

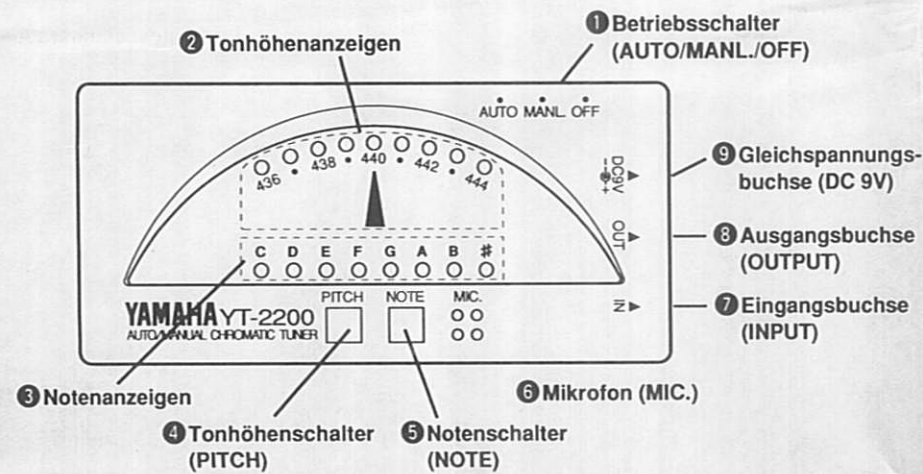
BEDIENUNGSANLEITUNG

Vielen Dank für den Kauf des chromatischen Stimmgeräts YAMAHA YT-2200 für automatischen oder manuellen Betrieb.
Bitte lesen Sie sich diese Anleitung vor Gebrauch durch und bewahren Sie sie dann zur späteren Bezugnahme an einem sicheren Ort auf.

■ VORSICHTSMASSNAHMEN

- Das Gerät vor den nachfolgenden Einflüssen schützen, um Schäden zu verhindern:
 - Direkte Sonneneinstrahlung
 - Extreme Temperaturen oder Feuchtigkeit
 - Übermäßiger Staub.
- Zum Betrieb des YT-2200 nur eine 9 V Batterie der Kennung 6F22 oder 006P bzw. den getrennt erhältlichen Yamaha Netzadapter AC-05G oder AC-320G verwenden. Andere Stromquellen können zu Schäden führen.
 - Vor dem Anschluß des Netzadapters sicherstellen, daß die Polarität des Steckers mit der der Buchse übereinstimmt (- → +).
 - Die Tonhöhenanzeige ganz links leuchtet, wenn das Gerät eingeschaltet ist.
- Das Gerät nach Gebrauch stets ausschalten, um die Batterie zu schonen.
- Vor längerem Nichtgebrauch die Batterie entfernen, um Schäden durch womöglich lecke Batterien zu verhindern.
- Vor Stoß und Schlag schützen. Keinesfalls mit Gewalt handhaben.
- Zum Reinigen keinesfalls Benzin oder Verdüner verwenden. Mit einem trockenen, sauberen Tuch abwischen.

■ BAUTEILE



■ TECHNISCHE DATEN

Anzeigen	: Notenanzeigen, Tonhöhenanzeigen
Stimmeßbereich	: B0 — B7
Präzision	: ± 1 Cent
Stimmenzeigengenauigkeit	: ± 1 Cent
Bezugstonhöhenbereich	: A4= 436 Hz — 444 Hz (1 Hz Schritte)
Zusatzfunktion	: Batterieprüfung
Buchsen	: INPUT, OUTPUT, DC 9V
Stromversorgung	: 9V Trockenzelle (006P oder 6F22) oder YAMAHA Netzadapter (AC-05G oder AC-320G)
Abmessungen (WxHxD)	: 127 x 60 x 28,5 mm
Gewicht	: 140 g mit Batterie
Zubehör	: 9V Batterie (6F22) x 1

* Änderungen an Daten und Design vorbehalten.

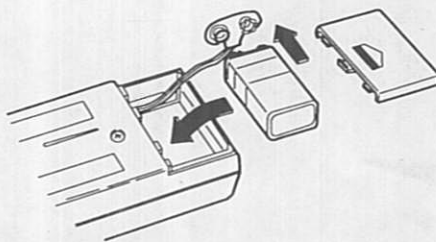
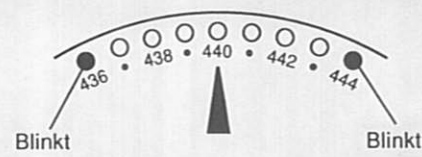
■ BATTERIEPRÜFUNG

Wenn die Tonhöhenanzeigen 2 an den beiden Skalenenden blinken, ist die Batterie verbraucht. Die Batterie sollte in diesem Fall so schnell wie möglich durch eine frische ersetzt werden (6F22:006P-9V). Das YT-2200 verfügt außerdem über eine DC 9V Buchse, damit ein getrennt erhältlicher Yamaha Netzadapter (AC-05G oder AC-320G) zum Betreiben des Geräts verwendet werden kann.

• Batteriewechsel

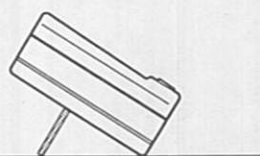
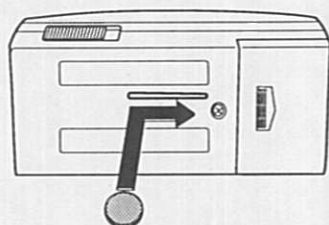
Das Batteriefach befindet sich auf der Rückseite. Die alte Batterie durch eine neue des gleichen Typs austauschen. Beim Anschließen der Batterie auf korrekte Polung achten.

* Vor dem Wechseln der Batterie den Betriebsschalter 1 unbedingt auf OFF stellen.



■ KIPPSCHLITZ

Das YT-2200 weist einen Schlitz auf der Rückseite auf, wodurch es nach hinten gekippt werden kann. Eine Münze o.ä. in den Schlitz einführen und das Gerät nach hinten kippen, wie gezeigt.



■ STIMMVORGANG

• Automatisches Stimmen (AUTO)

In der AUTO-Betriebsart wählt das Stimmgerät die dem Eingabeton am nächsten liegende Note. Dies ist besonders praktisch zum Stimmen bei Live-Konzerten.

- Zum Stimmen elektrischer Instrumente deren Kabel an die IN-Buchse 7 anschließen. (Die OUT-Buchse 8 kann dabei mit einem Verstärker verbunden sein.)
 - Ein über die IN-Buchse 7 eingegebenes Tonsignal liegt auch dann an der OUT-Buchse 8 an, wenn der Betriebsschalter 1 auf OFF gestellt ist. Um Einstrahlung unerwünschter Tonsignale zu vermeiden, sollte der Betriebsschalter 1 bei Nichtgebrauch des Stimmgeräts stets auf OFF gestellt sein.
- Akustische Instrumente zum Stimmen so dicht wie möglich an das eingebaute Mikrofon 6 halten.
 - Bei beschalteter IN-Buchse 7 funktioniert das Mikrofon 6 nicht.
- Den Betriebsschalter 1 auf AUTO stellen.
- Ggf. mit dem PITCH-Schalter 4 die Tonhöhe für Stimmtone A wählen. (Einzelheiten siehe "Einstellung der Stimmtöne".)
- Beim Spielen einer Note leuchtet die Notenanzeige 3 auf, die dem eingegebenen Ton am nächsten kommt. Bei Halbtönen leuchtet zusätzlich die #-Anzeige.
 - Darauf achten, daß jeweils nur ein Ton (d.h. eine Note) gespielt wird.
- Das Instrument stimmen, bis die der gespielten Note entsprechende Notenanzeige 3 und die mittlere Tonhöhenanzeige 2 (440 Hz) leuchten.

Es sollte nur die Tonhöhenanzeige "440" leuchten.



Die Anzeige für die gespielte Note sollte aufleuchten.

• Manuelles Stimmen (MANL.)

In der MANL.-Betriebsart müssen die Noten zum Stimmen einzeln gewählt werden. Diese Betriebsart eignet sich zum Stimmen der Instrumente vor einem Konzert.

- Elektrische Instrumente werden wie bei der AUTO-Betriebsart an die IN-Buchse 7 angeschlossen. Akustische Instrumente sollten möglichst nahe am eingebauten Mikrofon 6 positioniert sein.
- Den Betriebsschalter 1 auf MANL. stellen.
- Ggf. mit dem PITCH-Schalter 4 die Tonhöhe für Stimmtone A wählen. (Einzelheiten siehe "Einstellung der Stimmtöne".)
- Die gewünschte Stimmtöne mit dem NOTE-Schalter 5 wählen. Bei jedem Druck auf den NOTE-Schalter 5 leuchtet gemäß dem folgenden Schema die jeweils nächste Notenanzeige 3 auf:

→ C → C# → D → D# → E → F → F# → G → G# → A → A# → B →
- Das Instrument stimmen, bis die mittlere Tonhöhenanzeige 2 (440 Hz) leuchten.

■ WAHL DER BEZUGSTONHÖHE

In der letzten Zeit wird die Bezugstonhöhe und damit die Tonlage von Instrumenten oft geringfügig angehoben. Die Bezugstonhöhe unterscheidet sich von Region zu Region und Ära zu Ära. Um ein Harmonisieren mit anderen Instrumenten zu erlauben, kann die Bezugstonhöhe und die Tonlage des YT-2200 modifiziert werden.

• Wahl der Bezugstonhöhe

- Den Betriebsschalter 1 in die Stellung MANL. oder AUTO schieben.
- Durch Drücken von PITCH 4 auf Tonlagenwahl schalten. Eine Anzeige 2 der Bezugstonhöhe (A4: 436 — 444 Hz) blinkt dadurch.
- Während Blinkens der Anzeige 2, PITCH 4 so oft antippen, bis die gewünschte Tonlagenanzeige für Ton A aufleuchtet (die Reihenfolge ist unten gezeigt). Jede Anzeige 2 repräsentiert hierbei eine Änderung der Bezugstonhöhe um 1 Hz.

→ 436 → 437 → 438 → 439 → 440 → 441 → 442 → 443 → 444 →
- Die gewünschte Tonlage wählen. Wird die PITCH-Taste 4 ca. 2 Sekunden lang nicht betätigt, schaltet das YT-2200 automatisch auf Stimmbetrieb.
 - Die eingestellte Bezugstonhöhe bleibt für beide Betriebsarten ("AUTO" und "MANL.") gespeichert, bis der Betriebsschalter 1 zum Ausschalten auf "OFF" gestellt wird. Wenn der Betriebsschalter 1 danach erneut von "OFF" auf "AUTO" bzw. "MANL." gestellt wird, gibt das Gerät als Bezugstonhöhe wieder 440 Hz vor, wobei die Tonhöhenanzeige etwa zwei Sekunden lang blinkt.

Nach Einstellen der Bezugstonhöhe (A4) brauchen die einzelnen Saiten nur so gestimmt zu werden, daß die mittlere (440) der Tonhöhenanzeigen 2 leuchtet.

Bescheinigung des Importeurs

Hiermit wird bescheinigt, daß der / die / das
AUTO/MANUAL CHROMATIC TUNER Typ : YT-2200

Gerät, Typ, Bezeichnung)

in Übereinstimmung mit den Bestimmungen der

VERFÜGUNG 1046/84

(Amtsblattverfügung)

funktionsstört ist.

Der Deutschen Bundespost wurde das Inverkehrbringen dieses Gerätes angezeigt und die Berechtigung zur Überprüfung der Serie auf Einhaltung der Bestimmungen eingeräumt.

YAMAHA Europa GmbH

Name des Importeurs

無償修理規定

- 正常な使用状態 (取扱説明書、本体貼り付けラベルなどの注意書に従った使用状態) で故障した場合には、お買上げの販売店が無料修理を致します。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、お買上げの販売店に商品と本書をご持参のうえご依頼ください。
- ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げ販売店にご依頼できない場合等は、最寄りのヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - 消耗部品の交換。
 - お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

※この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点にお問い合わせください。